

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和7年度 第3回郷育推進会議
開催日時		令和7年9月25日（水） 18:30～20:00
開催場所		福津市中央公民館 2階研修室1
委員名		(1) 出席委員 木本会長、山口副会長、伊藤委員、宇都宮委員、大森委員、國廣委員、立山委員、中島委員、濱田委員、柳田委員 (2) 欠席委員 なし
所管課職員職氏名		教 育 部 長 宮原 栄介 郷 育 推 進 課 長 芹野 文彦 郷育推進課郷育係長 宇藤 雄矢 郷育推進課郷育係 橋詰 結菜
会 議	議 題 （内 容）	1 視察 （市未来共創センターキッカケラボ、市中央公民館） 2 意見交換
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	3人
	資料の名称	・Project Report2022-2024 キッカケラボの現在 ・福津市中央公民館 パンフレット
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録 ☒ 録音テープを使用した要点記録 ☐ 要点記録 記録内容の確認方法：会長による確認
その他の必要事項		

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会のことば

2. 部長あいさつ

3. 視察

（1）市未来共創センターキッカケラボ

●キッカケラボ職員

キッカケラボ（以下、ラボ）について紹介していく。SDGs 未来都市になったことをきっかけにラボが誕生した。未来共創会議、プレイヤー、事務局の3者が連携して多くの取り組みを展開している。現在、NPO 法人、任意団体、企業や事業者まで 82 団体が現在団体登録をしている状況。

コネクターは様々な場所に出向いてヒアリングを行い、市内の活動を把握している。そして、何か活動したい市民がいれば市内の活動団体へ繋いでいる。また、ラボ主催のボランティア講座や地域デビュー講座など地域に出向き開催しているものもある。

研究結果によると、市民活動や地域の活動に参加している人ほど幸福度が高い。誰かとつながり、活動を行い、それが町のためになって、人の幸せを目指していく事がラボの役割である。

キッカケマルシェやふくつたいけんプログラム、ふくつ地域デビュー講座、SDGs のキッカフェ、ふくつプレイヤーズ、テーマ型ネットワーク、バスクール、ふくつウェルビーイング大賞など多くの活動をしている。

●委員

福岡東中学校では、制服と環境について考える講座やボランティア講座を開催していた。また、福岡東中学校の生徒会や光陵高校の生徒がラボに相談に行っているようだ。

●委員

活動を支援している中で、特定の世代へのアプローチが課題と感じる部分はあるか。

●キッカケラボ職員

ラボ設立当初は 60 代の方が中心となって活動していた。現在は新しく何か挑戦したい 40～50 代の方が入ってきている。また、バスクールで場づくりを行うプログラムを実施しておりこちらは 30～40 代が中心。今年度は高校生 1 人、大学生 3 人が参加をしている。全体的には 10～20 代の層が増えてきている。

課題は、市内には子どもと参加できるコミュニティは多いが夫婦で参加できる場が少ない点である。そこでつながりの場所としてバススクールが新たな活動場所になっている。市内に大学がないため学生がおらず、20代との接点ができにくいのも課題。小さい頃までは福津市に郷土愛を持っているが大学進学を機に市内を離れると戻ってくるのが少ない。市内に住む中でいろいろな経験をしてもらい、郷土愛を育むことがとても大事だと思う。

(2) 市中央公民館

2 意見交換

●会長

ラボや公民館の見学を終えて感じたことや意見があれば話していきたい。市民の皆さんに今後もっと活用してもらう方法を何か考えられたらと思う。

●委員

ラボではたくさんの活動が活発に行われていることが分かった。この情報をもっといろいろな世代の人へ届けばいいなと感じた。また、事務局の人員が足りているのかが気になった。公民館については、館内の雰囲気が暗くもっていろいろな人に活用してもらえないかなと感じた。

●委員

海辺のクリーン作戦に参加したが、ゴミがたくさん落ちているのが気になった。水産高校や光陵高校の子どもたちなどと協力して海岸清掃に取り組むことはできないか。

●委員

今年はカメラホールが使えないため公民館を借り、市の文化祭を予定している。竹細工の材料となる竹が手に入りにくく、竹を上手く有効活用できないかと思う。

●委員

大牟田市ではネーミングライツパートナーという制度を活用している。公共施設にスポンサーとなる企業名や商品名等の愛称を付与する権利であり、企業側は多くの人に企業名をしてもらえる宣伝効果や地域とのつながりをアピールできるメリットがある。公民館もこの制度を使って名前を付けるのはどうか。また、公民館はバスが通っておらず不便。バスを通して、人の交流拠点になればいいなと思う。また、3つの中学校の間にあるのもっと子どもたちが利用する場所になれば雰囲気も明るくなるのではないかな。

●委員

婦人会は会員の高齢化が課題である。若い世代に入ってほしいが、そもそも活動をする余裕がないのではと思う。今まで行ってきたことを行うだけでも精一杯で、新しいことや次の役員への引き継ぎに課題がある。

●会長

婦人会の活動拠点はどこか

●婦人会

福間会館。

●委員

公民館内の雰囲気が暗い。1階にある自動販売機が2階にもあったらいいと思う。もっと中高生が利用しやすい場所にならないか。現在、ロビーでの飲食は禁止だが時間や状況によっては許可し、勉強や活動ができる環境を作してほしい。

●会長

公民館で勉強はできるのか。

●事務局

ロビーに机があり勉強する場所はあるが、節電のため電気もつかず、空調も効かない。勉強しやすい環境ではないのが現状。

●会長

放課後に子どもたちが気軽に勉強する場所がなく、飲食店などで勉強する子どもも多い。もっと気軽に人が集まる場所になればと思う。

●委員

公民館という建物があるので活用し、もっといろいろな団体が活動できる場所にしていけないといけない。電気を極力つけず、エアコンが壊れても修理ができない。このままでは公民館が廃れる一方なので、もっと攻めの姿勢が必要だと思う。

この郷育推進会議は行政にモノを言える権限を持っているので、ここで出た意見をぜひ提言したい。例えば子どもたちが勉強できる場所を作り、そこに団体の活動の様子や各学校での学習成果などを壁に掲示する。すると、勉強をしに来た子どもが活動内容を知り、この活動に参加してみたいなどのきっかけを作ることができる。また、子どもの掲示物があると親は見たいので施設を訪れ、同時に他に掲示されている団体の活動の様子を知ることができる。

ウェルビーイング大賞は、活動している人達のウェルビーイングが高まりとてもいい取組みである。活動に対して価値づけするものは、ぜひ継続してほしい。

●会長

審査員としてウェルビーイング大賞の審査を行ったが、何を基準に大賞と認定するか判断がとても難しかった。表彰された団体はとても喜んでいたので印象的で良い取組みだと思った。

●副会長

郷づくりにいると、こんな活動したいがどこでできるかと相談に来られることがあり、その時はラボを案内した。ラボに行き、いろいろな人と繋がりができたことで活動の幅が広がっていた。また、郷づくりの地域福祉部会ではイベントを開催している人もいる。

公民館については、もっと交通の便が良くなればいいと思う。現在、飲食や食品販売の禁止など制約が多いので市民が使いやすいように柔軟に変えてほしいと思う。

●会長

今回の会議では公民館の今後の可能性について話し合う事が出来たと思う。現在、市にお金がないがそれを理由に何もやらないと衰退していく一方である。この状況の中でどう運営していくかを考えていかなければならない。福津市はコミュニティースクールが活発で学校で子どもたちが多く活動しているので、活動実績を報告できる場としても公民館が利用できればと思う。

また、お手洗いは和式がほとんどで今の子どもたちには使いづらい。洋式に変えるなど時代に合わせた対応が必要だと思う。公民館にはもっと攻めの姿勢で運営してもらいたい。公民館までのバスについては、人が集まらない所にバスは通らないので実現はかなり厳しいのではと思う。しかし、やはりバスがあった方が市民にとって便利なのでぜひ市で考えてもらいたい。

さらに、この会議外での声も聴くべくアンケート実施の機会を作りたい。公民館の利用者を増やすことを目的に、何があれば公民館に行きたいかなど市内の学校に協力してもらい、子どもたちの声をぜひ聴きたい。そのためのたたき台をこの会議で作成出来たらと思う。

4. 報告事項

- ・9月5日「学校を核としたつながりづくりセミナー」参加
- ・今後実施予定の研修
福岡ブロック社会教育委員研修会 10月17日
九州ブロック福岡大会 11月13日～14日

5. その他

次回開催日について

11月26日（水）18時30分～ 市役所にて開催予定